【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】令和6年5月17日(2024.5.17)

【国際公開番号】WO2023/176241
【出願番号】特願2024-507591(P2024-507591)
【国際特許分類】
Ｃ２５Ｂ　9/63(2021.01)
Ｃ２５Ｂ　9/65(2021.01)
Ｃ２５Ｂ　9/00(2021.01)
Ｈ０１Ｍ　8/1226(2016.01)
Ｈ０１Ｍ　8/12(2016.01)
【ＦＩ】
Ｃ２５Ｂ　9/63
Ｃ２５Ｂ　9/65
Ｃ２５Ｂ　9/00　　Ａ
Ｈ０１Ｍ　8/1226
Ｈ０１Ｍ　8/12　１０１

【手続補正書】
【提出日】令和6年2月21日(2024.2.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１主面、第２主面、及び貫通孔を有する金属板と、
第１電極層、第２電極層、及び前記第１電極層と前記第２電極層との間に配置される電解質層、を有し、前記金属板の前記第１主面上に配置されるセル本体部と、
前記貫通孔の内壁面上に周方向に沿って形成され、前記貫通孔の内壁面を補強するように構成された第１補強部と、
を備え、
前記第１補強部は、前記貫通孔の内壁面から中心に向かって突出し、前記貫通孔の内壁面上の前記第２主面側端部に配置される、
電気化学セル。
【請求項２】
前記金属板は、前記貫通孔の内壁面を覆う酸化皮膜を有し、
前記第１補強部は、前記酸化皮膜上に配置される、
請求項１に記載の電気化学セル。
【請求項３】
前記第１補強部は、前記酸化皮膜とは異なる成分を含む、
請求項２に記載の電気化学セル。
【請求項４】
前記第１補強部は、前記金属板よりも高いヤング率を有する材料により構成される、
請求項１に記載の電気化学セル。
【請求項５】
前記第１補強部は、環状である、
請求項１に記載の電気化学セル。

【請求項６】
前記第１補強部よりも前記第１主面側に配置され、前記貫通孔の内壁面上に周方向に沿って形成され、前記貫通孔の内壁面を補強するように構成された第２補強部をさらに備える、
請求項１に記載の電気化学セル。
【請求項７】
前記第２補強部は、前記金属板よりも高いヤング率を有する材料により構成される、
請求項６に記載の電気化学セル。
【請求項８】
前記第２補強部の高さは、前記第１補強部の高さよりも低い、
請求項６に記載の電気化学セル。
【請求項９】
前記第１補強部は、セラミックスによって構成される、
請求項１に記載の電気化学セル。
【請求項１０】
前記第１補強部は、金属によって構成される、
請求項１に記載の電気化学セル。
【請求項１１】
第１主面、第２主面、及び貫通孔を有する金属板と、
第１電極層、第２電極層、及び前記第１電極層と前記第２電極層との間に配置される電解質層、を有し、前記金属板の前記第１主面上に配置されるセル本体部と、
前記貫通孔の内壁面上に周方向に沿って形成され、前記貫通孔の内壁面を補強するように構成された第１補強部と、
前記第１補強部よりも前記第１主面側に配置され、前記貫通孔の内壁面上に周方向に沿って形成され、前記貫通孔の内壁面を補強するように構成された第２補強部と、
を備える、電気化学セル。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
好ましくは、電気化学セルは、第２補強部をさらに備える。第２補強部は、第１補強部よりも第１主面側に配置される。第２補強部は、貫通孔の内壁面上に周方向に沿って形成される。第２補強部は、貫通孔の内壁面を補強するように構成されている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６０】
第２補強部６１は、第１補強部６と同様に、貫通孔４３の内壁面上に周方向に沿って形成されている。第２補強部６１の高さは、第１補強部６の高さよりも低く形成してもよい。また、第２補強部６１は、金属板４よりも高いヤング率を有する材料により構成される。第２補強部６１は、第１補強部６と同様の材料によって構成することができる。また、第２補強部６１は、第１補強部６と同様の方法で形成することができる。